

そらいろ通信 **4月**

看護小規模多機能型居宅介護事業所 **そらいろ**

〒310-0844 水戸市住吉町57-2 コーブ菜の花の家水戸内
☎029-246-5680 ㊟029-246-5682

Vol.03

2018年4月号

**ご存知
ですか？**

短期利用居宅介護（制度）

～「短期利用居宅介護」とは～

→「利用者の状態や利用者の家族等の事情により、指定居宅介護支援事業所の介護支援専門員が緊急に利用する事が必要と認めた場合であって、看護小規模多機能型居宅介護事業所の介護支援専門員が、看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者に対する看護小規模多機能型居宅介護の提供に支障がないと認めた場合に、7日以内の利用が可能（やむを得ない事情の場合には14日間まで可能）」というものです。

→どうということかと言うと・・・

- ①緊急時に7日間はすぐに利用が可能（通いサービスでも泊りサービスでも）
- ②“臨時”利用なので担当介護支援専門員の変更は伴わない
- ③そのまま継続利用も可能（看多機への契約変更）

★当事業所においても「退院先が見つからないから」や「急に身体が動かなくなって家においておけないから」などと言った理由で、緊急的な泊り利用を何例も受け入れています！！

排便ケアについて～便秘のこと～

トイレで排便することができなくなった方の困り事は便秘ではないでしょうか。健康チェック時に大腸の蠕動音を聴くのですがグルグル聞こえる方もあれば聞こえない方もあり、それは排便状況に見合っています。

人は毎日食べるから、毎日出すことが健康と考えます。では出ない方はどうすればよいでしょう。下剤の調整もしますが、養生法としてはどうでしょうか。

まずはトイレに座ること。とくに朝食後は胃結腸反射が起きるので便が下りて来ます。便が硬い。いきむ力が弱くて排泄できない方はトイレでちょっと手助けをします。肛門周囲のマッサージや肛門に指を入れて刺激します。そうすると出てきます。それを繰り返すと自力で出せるようになるのです。

そらいろでは週3回通いを利用されている方が多く、来られた時は上記をやってみます。最近では上手くいくケースがみられてきました。エキストラバージンオイルを飲むことやオリゴ糖を摂る、ビフィズス菌を摂ること等を試しています。後日 その成果を報告します。

六地藏へ外出♪



私たちの大切にしていること

「換気をする」

換気とは“外界の自然の空気を取り入れて、室内の空気を清浄に保つこと”を言います。生きた空気をご利用者に吸ってもらうことが、健康を保つための介護・看護の第一歩と考えます。また、「感染なるものは不可避なのではなく、ただ、ケアの不在と無知とからの結果にすぎない」とナイチンゲールが言っていることから、ノロウイルスやインフルエンザの発生予防にも換気をすることは重要です。

よく「寒い(暑い)ときに換気をするのは難しいのでは？」と質問もありますが、換気で大切なのはこまめに行うことであり、短時間の窓の開閉ではそれほど気温の変化はありません。当事業所では大々的に行うのは朝・昼・夕の3回ですが、その他は適宜自由に各スタッフがプチ換気を行っています。

